

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	337,102千円	335,511千円	423,539千円	0千円
	総人件費	11,183千円	12,463千円	12,999千円	
	総事業コスト	348,285千円	347,974千円	436,538千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名		01 庁舎維持管理事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-			
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-					
総合戦略		-		実績	-	-	-					-		-					
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-					
根拠法令等		-		改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎給水設備の更新 庁舎等の電力購入に関する仕様書の見直し 				<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎の各設備の整備 本庁舎執務室のレイアウトの改善について検討する。 大穂庁舎の老朽化した設備の改修 				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 大穂庁舎給水設備更新工事の実施 平成28年9月で満了となる庁舎等の電力購入についての仕様書等の見直し 				<ul style="list-style-type: none"> 庁舎の維持管理業務を実施する。 本庁舎のエレベーター等の修繕工事等を実施する。 関係部署と本庁舎執務室のレイアウトについて検討する。 大穂庁舎の老朽化した設備の修繕工事等を実施する。 複数年契約の満了に伴い、本庁舎及び大穂庁舎の設備管理業務委託等について、仕様書の見直しを行う。 				事業費(A)		256,276千円	234,987千円	334,696千円	0千円	
執行体制		一部委託		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎維持管理工事 本庁舎 60件 / 大穂庁舎等 15件 大穂庁舎給水設備更新工事を施工 庁舎等90施設の電力購入について契約を締結 新庁舎及び旧庁舎の維持管理等委託契約の締結 庁舎2階に執務室を増設 				<ul style="list-style-type: none"> 上半期活動実績 				国庫支出金		4,955千円	1,262千円	996千円	0千円	
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎及び旧6庁舎(春日庁舎を除く)の施設・設備等の維持管理を行い市民の利便性と事務事業の効率化を図るため。 		成果	<ul style="list-style-type: none"> 契約に基づいた工事の着工及び委託契約の締結により、庁舎の適切な維持管理を図ることができた。 新電力業者との電気供給契約の締結により、電気料金のコスト削減を図ることができた。 				<ul style="list-style-type: none"> 上半期成果 				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 旧庁舎(解体までの維持管理) 本庁舎(各種業務委託の実施:設備管理,植栽管理,廃棄物運搬,等) (維持管理のための修繕・改修工事等) 		課題	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎の執務室が手狭になっているため、レイアウトの検討が必要である。 大穂庁舎について、各設備の老朽化が進んでいるため、大規模改修の検討が必要である。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題 				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	その他特財		39,986千円	47,215千円	44,806千円	0千円		
		H29環境関連性		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		一般財源		211,335千円	186,510千円	288,894千円	0千円		
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		人件費(B)		4,623千円	5,935千円	6,439千円			
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		正職員		0.50人	0.60人	0.60人			
												時間外勤務		340.00時間	553.00時間	742.00時間			
												臨時職員等		有	有	有			
												事業コスト(A+B)		260,899千円	240,922千円	341,135千円			
												H30年度当初積算根拠		-					
												H30年度の方向性		-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	337,102千円	335,511千円	423,539千円	0千円
	総人件費	11,183千円	12,463千円	12,999千円	
	総事業コスト	348,285千円	347,974千円	436,538千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	02 庁舎清掃・警備委託事業				指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-			
戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略	-	-	-	-	実績	-	-	-											
個別計画	-				改善目標	H28年度				H29年度				その他の指標	-				
根拠法令等	-				事業計画	委託業務の執行管理を行う。				警備員の採用基準について検討する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	・日常清掃の実施(開庁日) ・定期清掃の実施 各フロア等年2回 ・24時間警備の実施 ・免震ピット(地下ピット)における清掃の実施				上半期活動実績 -				事業費(A)	51,158千円	62,023千円	62,002千円	0千円	
執行体制	全て委託				成果	・清掃によって庁舎の衛生的かつ快適な環境の保持を図ることができた。 ・24時間警備による時間外の電話対応・書類受取等による市民サービスの向上が図れた。				上半期成果 -				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	清掃については、庁舎を良好に維持し、衛生的かつ快適な職場環境を保つため。また、警備については、本庁舎における警備及び時間外の電話対応による、庁舎の保全と市民サービス向上のため。				課題	警備員の採用年齢の高齢化が進んでいるため、採用年齢についての検討が必要である。				課題				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	本庁舎の清掃業務及び警備業務の実施				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況			-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001	H28環境関連性	-			有効性	中：適切な成果が得られている				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
	H29環境関連性	-			効率性	中：適切な費用対効果が得られている				-				一般財源	51,158千円	62,023千円	62,002千円	0千円	
		-			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-				人件費(B)	2,416千円	2,416千円	2,416千円		
		-												正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人	
		-												時間外勤務	70.00時間	70.00時間	70.00時間		
		-												臨時職員等	無	無	無		
		-												事業コスト(A+B)	53,574千円	64,439千円	64,418千円		
		-												H30年度当初積算根拠	-				
		-												H30年度の方向性	-	理由	-		

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	337,102千円	335,511千円	423,539千円	0千円
	総人件費	11,183千円	12,463千円	12,999千円	
	総事業コスト	348,285千円	347,974千円	436,538千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	03 総合案内・電話交換委託業務	指標名	-	指標種別	-	指標の概要	-				
戦略プラン	-	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略	-	実績	-	-	-						
個別計画	-	H28年度				H29年度					
根拠法令等	-	改善目標	・庁舎内での会議及び市が実施するイベント等の情報提供について、職員に周知する。				改善目標	・敷地内の金銭に関する落し物の取扱いについて検討する。			
事業分類	F 施設等維持管理事業	事業計画	・来庁者の多種多様なニーズに対応し、市民サービスの向上を図るため、市が関係する催物等の情報提供を関係部署に依頼する。 ・委託業務の執行管理を行う。				事業計画	・総合案内業務を実施する。 ・電話交換業務を実施する。 ・市が関係する催事等の情報提供を関係部署に依頼する。 ・落し物の取扱いについて、マニュアルを作成する。 ・複数年契約(3年間)の満了に伴い、庁舎の総合案内・電話交換業務委託について、仕様書の見直しを行う。			
執行体制	全て委託	活動実績	・組織改編及び人事異動に伴う適正な案内等の対応 ・総合案内にあった市民からの要望等の担当部署への報告 ・イントラ及び借用願等を利用した催事等の情報提供の依頼 ・1階における落し物等に関する対応				上半期活動実績	-			
事業の目的	・多種多様なニーズに対し、より迅速かつ的確な対応を行い、市民サービスの向上を図るため。	成果	・電話及び総合案内による対応により、情報提供サービスの向上を図ることができた。 ・催事等の情報提供により、来庁者への案内等のサービス向上が図れた。				上半期成果	-			
事業の概要	本庁舎の電話交換及び総合案内業務の実施。	課題	・敷地内の金銭に関する落し物の取り扱いについて				課題	-			
ISO 14001	H28環境関連性 -	事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-		
	H29環境関連性 -	評価	有効性	中：適切な成果が得られている		有効性	-				
			効率性	中：適切な費用対効果が得られている		効率性	-				
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価	-				
		H30年度当初積算根拠		H30年度当初積算根拠		H30年度当初積算根拠		理由			
		事業実施コスト		H27年度決算		H28年度決算		H29年度当初			
		事業費(A)		23,588千円		23,588千円		23,588千円			
		国庫支出金		0千円		0千円		0千円			
		県支出金		0千円		0千円		0千円			
		地方債		0千円		0千円		0千円			
		その他特財		0千円		0千円		0千円			
		一般財源		23,588千円		23,588千円		23,588千円			
		人件費(B)		824千円		824千円		824千円			
		正職員		0.10人		0.10人		0.10人			
		従事割合		30.00時間		30.00時間		30.00時間			
		時間外勤務		有		無		無			
		臨時職員等		有		無		無			
		事業コスト(A+B)		24,412千円		24,412千円		24,412千円			
		H30年度当初積算根拠		-		-		-			
		H30年度当初積算根拠		-		-		-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	337,102千円	335,511千円	423,539千円	0千円
	総人件費	11,183千円	12,463千円	12,999千円	
	総事業コスト	348,285千円	347,974千円	436,538千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	11	庁舎維持管理に要する経費

事務事業名	04 備品の管理事務	指標名	備品数	指標種別	活動結果指標	指標の概要	本庁舎内で管理している備品数				
戦略プラン	- - - -	目標値	H26年度 -	H27年度 -	H28年度 -	H29年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -		
総合戦略	- - - -	実績	8,228点	8329点	8345点						
個別計画	-	H28年度			H29年度			その他の指標	-		
根拠法令等	つくば市物品管理規則	改善目標	・老朽化した備品の更新を検討する。			改善目標	-				
事業分類	D 内部管理事業	事業計画	・庁舎備品現品調査の実施 ・備品管理システムの運用管理 ・組織改編, 人事異動に伴う庁内レイアウト変更及び不足備品(老朽化した備品含む)の購入			事業計画	・庁舎備品現品調査の実施 ・備品管理システムの運用管理 ・組織改編, 人事異動に伴う庁内レイアウト変更及び不足備品(老朽化した備品含む)の購入				
執行体制	一部委託	活動実績	・庁舎備品現品調査の実施 ・備品管理システム上の管理換え実施(組織改編) ・組織改編, 人事異動に伴う庁内レイアウト変更及び不足する備品の購入を実施 ・老朽化した備品について, 必要な修繕や更新の実施			上半期活動実績	-				
事業の目的	・備品を有効に使用するため。 ・効率的かつ効果的な管理をするため。	成果	・庁舎における執務環境の向上を図ることができた。			上半期成果	-				
事業の概要	・備品管理システムの運用管理 ・現品調査の実施(在庫管理) ・新規備品購入及び備品修繕依頼 ・人事異動に伴う庁内レイアウト変更	課題	-			課題	-				
ISO 14001	H28 環境関連性	廃棄物発生抑制	達成	備品を適正に維持管理し, 不必要な備品購入を抑制する事で, 無駄な廃棄物を削減する事ができる。			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	
	H29 環境関連性	廃棄物発生抑制	達成	備品を適正に維持し, 不必要な備品購入を抑制する事で, 無駄な廃棄物を削減する事			事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	
評価	有効性	中: 適切な成果が得られている			有効性	-					
	効率性	中: 適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
	総合評価	B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					
事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	内訳	事業費(A)	6,080千円	14,913千円	3,253千円	0千円
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		事業費(B)	3,320千円	3,288千円	3,320千円	
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円		正職員	従事割合	0.40人	0.40人	0.40人
地方債		0千円	0千円	0千円	0千円		時間外勤務	130.00時間	118.00時間	130.00時間	
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円		臨時職員等	無	無	無	
一般財源		6,080千円	14,913千円	3,253千円	0千円		事業コスト(A+B)	9,400千円	18,201千円	6,573千円	
H30年度当初積算根拠		-									
H30年度の方向性		-	理由	-							

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	6,830千円	12,699千円	7,868千円	0千円
	総人件費	7,060千円	7,071千円	7,071千円	
	総事業コスト	13,890千円	19,770千円	14,939千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	12	市有土地建物の管理に要する経費

事務事業名		01 市有地の管理事業		指標名	市有地除草件数				指標種別	活動結果指標			指標の概要	未利用の市有地(普通財産)について、生活環境保全のため、年2回の除草作業を行う。				
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
総合戦略		- - - -		実績	年2回	年2回	年2回											
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標	-					
根拠法令等		つくば市公有財産規則		改善目標	-				改善目標	-								
事業分類		A 任意的事業		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市有地除草業務委託(年2回) 市有地内の樹木剪定伐採等 つくば市公有財産管理委員会の開催 未利用市有地の売払い(廃道敷等)・貸付け 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 市有地除草業務委託(年2回) 市有地内の樹木剪定伐採等 つくば市公有財産管理委員会の開催 未利用市有地の売払い(廃道敷等)・貸付け 				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制		一部委託		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 市有地除草業務委託 年2回(41か所 24,500㎡ 6～11月) 市有地内の樹木剪定伐採等 5か所(4～6月) つくば市公有財産管理委員会の開催 2回(10・3月) 未利用市有地の売払い(廃道敷等) 8件(売払い面積 402.24㎡ 3,301,803円) 未利用市有地の貸付け 1件(貸付け面積 562.42㎡ 無償 松栄自治会) 				上半期活動実績	-				事業費(A)	2,816千円	3,901千円	4,596千円	0千円
事業の目的		<ul style="list-style-type: none"> 市が所有する土地(普通財産)を良好な状態に維持管理するため。 普通財産が経済的価値を十分に発揮するように運用するため。 		成果	<ul style="list-style-type: none"> 市有地(普通財産)を維持管理し、良好な状態に保つことができた。 払下げ申請のあった廃道敷地(普通財産)を売払い、管理面積の削減及び市の財源確保ができた。 				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> 市有地の取得、処分、貸し付け等について、庁内各部及び市民からの協議依頼に基づき随時実施する。 未利用の市有地(普通財産)については、生活環境保全等のために年2回の除草作業を行う。 		課題	-				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001	H28 環境関連性	廃棄物発生抑制 達成		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		-	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
	H29 環境関連性	廃棄物発生抑制		評価	有効性	中：適切な成果が得られている			評価	有効性	-			その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
		市有地(普通財産)の除草等を適正に行うことで、不法投棄の抑止につながる。		総合評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている			総合評価	-			一般財源	2,816千円	3,901千円	4,596千円	0千円	
		市有地(普通財産)の除草等を適正に行うことで、不法投棄の抑止につながる。										人件費(B)	3,901千円	3,928千円	3,928千円			
												正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人		
												内職	時間外勤務	70.00時間	100.00時間	100.00時間		
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	6,717千円	7,829千円	8,524千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	6,830千円	12,699千円	7,868千円	0千円
	総人件費	7,060千円	7,071千円	7,071千円	
	総事業コスト	13,890千円	19,770千円	14,939千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	12	市有土地建物の管理に要する経費

事務事業名		02 市有建物の管理事業		指標名	-				指標種別	-				指標の概要		-						
戦略プラン		-		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-		-		-						
総合戦略		-		実績	-	-	-	-	-	-	-	-		-		-						
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-								
根拠法令等		つくば市公有財産規則		改善目標	利用において不都合が生じる場合にのみ、必要に応じて部分的に修繕をする。				改善目標	-				事業実施コスト		H27年度決算 H28年度決算 H29年度当初 H30年度当初						
事業分類		A 任意的事業		事業計画	【旧上郷高等学校】 ・機械警備業務委託(年間) ・電気保安業務委託(年12回) ・消防設備点検委託(年2回) ・除草作業(年2回) 【旧筑波第一小学校】 ・電気保安業務委託(年12回)				事業計画	【旧上郷高等学校】 ・機械警備業務委託(年間) ・電気保安業務委託(年12回) ・消防設備点検委託(年2回) ・除草作業(年2回) 【旧筑波第一小学校】 ・電気保安業務委託(年12回)				事業費(A)		4,014千円	8,798千円	3,272千円	0千円			
執行体制		一部委託		活動実績	【旧上郷高等学校】 ・機械警備業務委託(年間) ・電気保安業務委託(年12回) ・消防設備点検委託(年2回) ・除草作業(年3回) 【旧筑波第一小学校】 ・電気保安業務委託(年12回) ・屋根材飛散防止ネット修繕(新校舍)				活動実績	-				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的		管財課が保有する建物を維持管理するため。		成果	市有建物を維持管理し、安全性を確保することができた。				成果	-				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要		損害保険の新規加入，更新等の総括。 市有建物の貸付契約及び徴収，修繕等。		課題	-				課題	-				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001		地球温暖化の防止 達成		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円			
H28環境関連性		必要最小限の電気(警備・消防設備)を使用し，電気使用量の削減に努めている。		有効性		中：適切な成果が得られている		有効性		-		一般財源		4,014千円	8,798千円	3,272千円	0千円	人件費(B)		3,159千円	3,143千円	3,143千円
H29環境関連性		必要最小限の電気(警備・消防設備)を使用し，電気使用量の削減に努めている。		効率性		中：適切な費用対効果が得られている		効率性		-		正職員		0.40人	0.40人	0.40人	内訳		従事割合	0.40人	0.40人	0.40人
ISO 14001		地球温暖化の防止		総合評価		B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-		時間外勤務		70.00時間	80.00時間	80.00時間	臨時職員等		無	無	無	
												事業コスト(A+B)		7,173千円	11,941千円	6,415千円	H30年度当初積算根拠		-		-	
																		H30年度の方向性		-	理由	-

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	112,133千円	112,720千円	129,191千円	0千円
	総人件費	6,438千円	7,777千円	7,830千円	
	総事業コスト	118,571千円	120,497千円	137,021千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	13	車両管理に要する経費

事務事業名		01 公用自動車の管理事業		指標名	公用車の維持管理台数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	管財課で維持管理を行う車両台数		
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度				
総合戦略		- - - -		実績	329台	327台	325台	325台	325台	325台	325台	その他の指標	-		
個別計画		公用車の効率的運用及び管理		H28年度				H29年度							
根拠法令等		つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程		改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 事故件数の削減 乗換リース:34台 有料道路使用料の抑制 				改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 事故防止の啓発 公用車未使用者の是正 					
事業分類		D 内部管理事業		事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員等に対し安全運転の周知を行なう他、事故者に対し、使用制限等について検討する。 安全な車両を維持するため、定期点検等を実施し車両の安全管理を行う。 老朽化した車両を入替え、新規リース車へ移行する。 有料道路の利用及びETCカード使用基準を適用し、利用の抑制を図る。 				事業計画	<ul style="list-style-type: none"> 職員等に対し安全運転の周知を行なう他、事故者に対し、使用制限等について検討する。 安全な車両を維持するため、定期点検等を実施し車両の安全管理を行う。 老朽化した車両を入替え、新規リース車へ移行する。 有料道路の利用及びETCカード使用基準を適用し、利用の抑制を図る。 					
執行体制		職員のみ		活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 車検125台、定期点検31台、任意保険加入(197台)、修繕(のべ96台)、リース契約(74台) 再リース39台含む、廃車17台(買取車) 集中管理の公用車の運行記録を警備員が入力 公用車の予約時間から1時間以上経過した場合、警備員が予約した職員に連絡し、公用車の使用について確認するようにした。 				上半期活動実績	-					
事業の目的		公用車の維持管理を行い、安全な運行ができる状態を維持するため。		成果	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した車両を廃車することにより、適正な公用車の配置が図れた。 警備員が運行記録の入力及び予約時間の管理を行うことにより、公用車の効率的な運行が図れた。 市で行う各種事業に貢献した。 				上半期成果	-					
事業の概要		車検、定期点検、任意保険加入、修繕、リース契約、車両購入、廃車、運行予約、記録入力の管理		課題	<ul style="list-style-type: none"> 公用車の事故防止 公用車未使用者の是正 				課題	-					
ISO 14001	H28 環境関連性	天気汚染の防止 達成		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H30年度当初積算根拠	理由		
	H29 環境関連性	古くなった車両を廃車し、最新の低公害車両を導入することで、環境に最大限配慮する。		有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-					
	天気汚染の防止		古くなった車両を廃車し、最新の低公害車を導入することで、環境に最大限配慮する。		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-				
ISO 14001		天気汚染の防止		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H30年度の方向性	-

事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
事業費(A)	105,198千円	106,642千円	117,170千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	105,198千円	106,642千円	117,170千円	0千円
人件費(B)	4,008千円	3,955千円	3,981千円	
正職員	従事割合	0.50人	0.50人	0.50人
内訳	時間外勤務	110.00時間	110.00時間	120.00時間
臨時職員等		無	無	無
事業コスト(A+B)	109,206千円	110,597千円	121,151千円	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	112,133千円	112,720千円	129,191千円	0千円
	総人件費	6,438千円	7,777千円	7,830千円	
	総事業コスト	118,571千円	120,497千円	137,021千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	13	車両管理に要する経費

事務事業名		02 バス運行管理事業		指標名	送迎人数				指標種別	活動結果指標		指標の概要	行政バスへの乗車人数										
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度												
総合戦略		- - - -		実績	13,138人	12,291人	11,312人																
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-									
根拠法令等		つくば市公用車の適正管理及び安全運行に関する規程 行政バス利用規程		改善目標	・今後のバス利用・運用方法の検討				改善目標	・今後のバス利用及び運用方法の検討				事業実施コスト		H27年度決算		H28年度決算		H29年度当初		H30年度当初	
事業分類		D 内部管理事業		事業計画	・バスの配車申請承認 ・定期点検の実施, 車両の維持管理				事業計画	・バスの配車申請承認 ・定期点検の実施, 車両の維持管理				事業費(A)		6,935千円		6,078千円		12,021千円		0千円	
執行体制		全て委託		活動実績	・配車回数 411回 ・送迎人数(延べ) 11,312人 ・定期点検の実施, 車両の維持管理 ・配車申請書及び承認書の様式の見直しを行った。 ・任意保険について, 補償内容の見直しを行った。				上半期活動実績	-				国庫支出金		0千円		0千円		0千円		0千円	
事業の目的		市で行う各種事業を円滑に遂行するために, 安心かつ安全に送迎等を行う。また, 車両の整備・点検を行う。		成果	・配車に関する書類の様式を見直すことによって, 事務の効率化を図れた。 ・保険の補償内容を見直すことにより, 乗客に対する自損事故発生時の補償を充実できた。 ・市の各種事業が円滑に実施できた。				上半期成果	-				県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円	
事業の概要		・行政バスの配車申請承認 ・平成26年度から, バス5台(行政バス1台, 旧福祉バス2台, 旧生涯学習バス1台, 旧議会バス1台)の一元管理(平成27年度からは4台に削減) ・運転手等は, 運転整備管理業務委託で締結		課題	・バス老朽化に伴う故障の増加(維持管理費の増加) ・バス利用繁忙期(7月, 10月, 11月)の配車業務効率化				課題	-				地方債		0千円		0千円		0千円		0千円	
ISO 14001		H28環境関連性		天然資源の枯渇防止		達成		事業の進捗状況		達成		改善目標の進捗状況		達成		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-	
ISO 14001		H29環境関連性		天然資源の枯渇防止		達成		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-		事業の進捗状況		-		改善目標の進捗状況		-	
評価		有効性		中: 適切な成果が得られている		有効性		-		有効性		-		事業コスト		9,365千円		9,900千円		15,870千円			
評価		効率性		中: 適切な費用対効果が得られている		効率性		-		効率性		-		人件費(B)		2,430千円		3,822千円		3,849千円			
評価		総合評価		B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-		総合評価		-		正職員		従事割合		0.30人		0.50人		0.50人	
H30年度当初積算根拠		H30年度当初積算根拠		-		H30年度当初積算根拠		-		H30年度当初積算根拠		-		時間外勤務		75.00時間		60.00時間		70.00時間			
理由		理由		-		理由		-		理由		-		臨時職員等		無		無		無			
H30年度の方向性		H30年度の方向性		-		H30年度の方向性		-		H30年度の方向性		-		事業コスト(A+B)		9,365千円		9,900千円		15,870千円			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	20,932千円	19,728千円	22,036千円	0千円
	総人件費	2,497千円	2,463千円	2,463千円	
	総事業コスト	23,429千円	22,191千円	24,499千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	財産管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	14	事務機器管理に要する経費

事務事業名		01 事務機器の管理事業		指標名	複合機パフォーマンスチャージ料				指標種別	活動結果指標		指標の概要	庁舎設置の複合機に係るパフォーマンスチャージ料金					
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
実績		-			11,683千円	15,506千円	15,643千円	-	-	-	-							
総合戦略		- - - -		実績	15,636千円	15,872千円	15,668千円					その他の指標	-					
個別計画		-		H28年度				H29年度										
根拠法令等		-		改善目標	・複合機での不要な印刷及びカラー印刷の抑制について、庁内へ周知徹底する。				改善目標	・複合機での不要な印刷及びカラー印刷の抑制について、庁内へ更に周知徹底する。								
事業分類		D 内部管理事業		事業計画	・複合機及び印刷機(モノクロ,カラー)の維持管理 ・庁舎シュレッダーの維持管理 ・大判プリンターの庁内共用化 ・紙折機の入替え(5月)				事業計画	・複合機及び印刷機(モノクロ,カラー)の維持管理 ・庁舎シュレッダーの維持管理 ・モノクロ印刷機の入替え(4月)				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
執行体制		職員のみ		活動実績	・紙折機の入替えを実施(5月) ・複合機パフォーマンスチャージ料 15,667,200円 ・モノクロ印刷機インク 142本,マスター 48本 ・カラー印刷機インク 40本 ・シュレッダー用袋(200枚入り) 13箱発注 ・各機器(シュレッダーを除く)の故障修理は保守込み契約のため、随時依頼				上半期活動実績	-				事業費(A)	20,932千円	19,728千円	22,036千円	0千円
事業の目的		事務機器の効率的かつ効果的な運用管理のため。		成果	紙折機(新機種)の入替により、処理速度が向上し、事務作業を効率化することができた。				上半期成果	-				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業の概要		・複合機及び印刷機等の管理運用 ・消耗品等の発注及び在庫管理 ・故障等の修繕依頼 ・各種契約事務,料金支払		課題	複合機からの出力枚数の抑制				課題	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
ISO 14001		H28環境関連性 天然資源の枯渇防止 達成 複合機での不要な印刷を抑制することで、紙・インク等を削減できる。		事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H29環境関連性 天然資源の枯渇防止 複合機での不要な印刷を抑制することで、紙・インク等を削減できる。		評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-		一般財源	20,932千円	19,728千円	22,036千円	0千円		
				評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-		人件費(B)	2,497千円	2,463千円	2,463千円			
												正職員	従事割合	0.30人	0.30人	0.30人		
												時間外勤務	100.00時間	100.00時間	100.00時間			
												臨時職員等	無	無	無			
												事業コスト(A+B)	23,429千円	22,191千円	24,499千円			
												H30年度当初積算根拠	-					
												H30年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H28年度～H29年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
	総事業費	15,226千円	15,667千円	14,634千円	0千円
	総人件費	2,323千円	2,291千円	3,024千円	
	総事業コスト	17,549千円	17,958千円	17,658千円	

部等名	課等名	係等名
財務部	管財課	庁舎管理係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	07	17	駐車場維持管理に要する経費

事務事業名		01 庁舎駐車場の管理事業		指標名	駐車場料金徴収金額(単位:千円)				指標種別	活動結果指標			指標の概要	・職員の庁舎職員駐車場及び各施設の駐車場使用料 ・庁外利用者による庁舎駐車場使用料						
戦略プラン		- - - -		目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度									
総合戦略		- - - -		実績	35,984千円	40,780千円	39,766千円													
個別計画		-		H28年度				H29年度				その他の指標		-						
根拠法令等		つくば市駐車場条例及び施行規則 つくば市職員等の駐車場の使用について (伺定)		改善目標	・大穂庁舎通路の舗装改修 ・庁舎駐車場の適正管理 ・各施設の職員駐車場の修繕				改善目標	・庁舎駐車場の案内表示の充実				事業実施コスト		H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
事業分類		F 施設等維持管理事業		事業計画	・大穂庁舎通路の改修設計を行い、舗装改修工事を行う。 ・庁舎駐車場の維持管理を行う。 ・各施設の要望を受け、職員駐車場の補修を行う。				事業計画	・庁舎駐車場の維持管理を実施する。 ・庁舎駐車場に外国人向け案内表示を設置する。 ・各施設の要望を受け、職員駐車場の補修等を実施する。				事業費(A)		15,226千円	15,667千円	14,634千円	0千円	
執行体制		一部委託		活動実績	・駐車場料金の徴収 来庁者： 3,031,100 円 職員： 36,733,990 円 ・駐車場修繕・工事 10件(職員駐車場 2件含む)				上半期活動実績	-				国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的		駐車場料金の徴収及び修繕整備を行うことにより、適正な駐車場の維持管理を行うため。		成果	・大穂庁舎駐車場及びふれあい広場駐車場の舗装・区画線を修繕することにより、駐車場の適正な利用が図れた。 ・土日の駐車場の開放に伴う市の財源確保ができた。				上半期成果	-				県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要		駐車場料金の徴収, 修繕整備		課題	・外国人の来庁者も多いため、外国人でも職員駐車場と来客用駐車場の区別ができるようにする必要がある。				課題	-				地方債		0千円	0千円	0千円	0千円	
ISO 14001		H28 環境関連性		事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-	その他特財		15,226千円	15,667千円	14,634千円	0千円	
		H29 環境関連性		有効性		中:適切な成果が得られている		有効性		-				一般財源		0千円	0千円	0千円	0千円	
				効率性		中:適切な費用対効果が得られている		効率性		-				人件費(B)		2,323千円	2,291千円	3,024千円		
				総合評価		B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		総合評価		-				正職員		0.30人	0.30人	0.40人		
														従事割合		0.30人	0.30人	0.40人		
														時間外勤務		35.00時間	35.00時間	35.00時間		
														臨時職員等		有	有	有		
														事業コスト(A+B)		17,549千円	17,958千円	17,658千円		
														H30年度当初積算根拠		-				
														H30年度の方向性		-	理由	-		